

おひさま通信



☀️ ごあいさつ

理事長 田中 紀代美

今年はインフルエンザの大流行で「春よ早く来い」という体調管理のし辛い冬でしたね。福祉の世界も法律的には、春は近づいているけれど、なかなか障害児・者本人にとって本当に生活しやすくなってきているのだろうかと感じています。でも子どもたちは我関せずで、マイペースな生活を送っていますね。彼や彼女たちが社会に出ていく時、生活しやすい環境になってくれることを望みます。

おひさま生活塾のみなさんが先輩保護者として、まだ幼い障害を持つ子どもの悩める保護者のアドバイザーとなっていられることが「繋がる」ということになり、仲間作りをしていって、一人で悩む人を作らないよう、みんなで支えあっていけたらいいなと思います。

今年度でみなさんと手をつなぎ、作り上げてきたおひさまクラブを始めて19年。今年から宇部総合支援学校でのおひさまクラブは終了し、川上おひさまクラブと一緒に楽しむことになりました。

おひさまクラブではたくさん子ども達や保護者と触れ合うことができましたが、この度理事長を交代することになりました。NPO 法人としてまだまだすることはたくさんあると思います。みなさんで希望や意見を出し合って、子ども達のために自分たちの思う居場所づくりをしていって欲しいと思います。本当に長い間お世話になりました。ありがとうございます。



宇部総合支援おひさまクラブ



実行委員一同

今年のおひさまクラブも去年からの学校の建て替え工事が続いていて、教室に行くのに迷うような感じで皆さんにご迷惑をおかけしました。でもそんな中、楽しい保育内容に子どもたちも積極的に参加してくれました。おひさまクラブ初めての出会いの「宇部太鼓」のみなさんと、体育館の中でお腹に響くほどの大きな太鼓の音で、子どもたちも驚くほどのリズム感でたたき、乗りに乗っていました。

手品の「銀友会」のお二人の手品は、お二人合わせて 150 歳という高齢の方々にもかかわらず、年齢を感じさせないテクニックでした。子ども達も興味津々に手元を見ていましたが、種も分からず驚くほどの手さばきで、笑顔のステキな紳士でした。金魚すくいやスーパーボールすくいも真剣な顔をして、紙が破れないように工夫をしながら楽しんでいました。長い間夏休みの居場所として学校を開放して頂き感謝・感謝です。たくさん思い出ができました。ボランティアの皆さんもありがとう。





「川上おひさまクラブ」



「川上おひさまクラブを利用して」

藤江 ひとみ

我が家には川上小に通う3人の子どもがいますが、上の子2人は自閉症です。私たち親子が川上のおひさまクラブに初めて出会ったのは、上の娘が小学2年生の時で、友達に紹介してもらったのがきっかけでした。

初めての場が苦手な娘。最初は少し心配もありましたが、ボランティアの皆さん方が優しく、無理なく、娘のペースに合わせて接して下さり、娘もすぐにおひさまクラブが大好きになりました。それから毎年おひさまクラブを利用させてもらっていますが、そのうちに息子も利用させてもらうようになり、今では姉弟で利用させてもらっています。おひさまクラブのおかげで、夏休みも家にこもることなく、



楽しい夏休みを過ごさせてもらっています。子ども達も(夏休み) = (おひさまクラブ)だというくらい毎年楽しみにしていて「次いついける?」とよく聞いてきます。私も子ども達が楽しそうにしている様子を見ることができるのは、嬉しく、親子で楽しみにしています。

最後になりましたが、お忙しい中、いつもお世話をしてくださる田中さんやボランティアの皆さん方には本当に感謝しています。この場をお借りして、お礼を言わせてください。いつも本当にありがとうございます。



サンデークラブ



サンデークラブでは工作や年2回のコンサートをしてボランティアさんを含めて楽しんでいます。ボランティアさんがマジックを披露してくださり、子ども達との交流を図ってもらいました。ボランティアさんの感想を紹介します。

「サンデークラブでの感想 Fクローバー 清水 さやか

今年で4年目の参加になります。毎月の参加はできなかったのですが、サンデークラブでは貴重な体験をさせていただきました。4年間の参加を通じて、子ども達の成長を見ることもできました。また保護者の方、他のボランティアの方ともサンデークラブに参加したことで、出会いが広がりました。卒業はしますが、これからも参加できるときはボランティアを続けていきたいと思っています。

サンデークラブでの作品



2018年 サンデークラブ実施日

4月15日	8月19日	12月16日
5月13日	9月9日	1月13日
6月10日	10月14日	2月10日
7月8日	11月18日	3月17日



にこにこクラブ



笑顔の場所 高等部 柳 綺佳



学校が終わって、雨の日以外は歩いてにこにこクラブへ来ています。制服を着替えて、おやつにします。

自由時間は宿題があれば宿題をした後に、UNOや卓球、億万長者ゲーム、オセロなどをして過ごします。特にUNOと卓球はほぼ毎日やっています。

また、パソコンの練習をすることもあります。

先生や友達との関わりがとても楽しく、よい交流の経験となっています。ここで教えてもらったことを、これからも役に立てていきたいと思っています。



わくわくクラブ(学習支援)

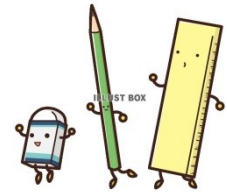


保護者 田中 律子

人と関わるのが苦手な子どもの話を気長に聞いてくださり、宿題も子どもの分かりやすい言葉で教えてくださる所が「わくわくクラブ」でした。

初めの頃はわからない問題にぶつかる度にイライラ、周りの音が気になってイライラしたりと、先生も大変だった事と思います。あれから5年近くたった今、わからないことは自分から聞けるようになり、イライラせずに集中して勉強に取り組めるようになりました。

学校生活で困ったことがある度に、親子で「わくわくクラブ」の先生に相談しました。不登校になるかもと心配していた子どもは、自分の夢に向かって元気に頑張っています。今があるのは「わくわくクラブ」の先生のおかげです。本当にありがとうございました。



2017年度 活動報告



2017年4月
～2018年3月

サンデークラブ

開催場所: 宇部総合支援学校
開催日: 毎月第2日曜日



2017年8月

おひさまクラブ

開催場所: 宇部総合支援学校・川上小学校
開催日: 宇部総合支援学校 6日間・川上小学校 6日間

2017年4月
～2018年3月

にこにこクラブ

開催場所: おひさま館(厚南北三丁目18-12)
開催日: 日曜日以外毎日(お盆休み・年末年始を除く)

2017年4月
～2018年3月

わくわくクラブ

開催場所: 第2おひさま館(松崎町3-6)
開催日: 毎週火曜日・木曜日

2017年4月
～2018年3月

ここにこカフェ（月2回）



2017年4月
～2018年3月

発達障害児を支えるネットワーク協議会（年間8回）

2017年4月

発達障害啓発 トキワウォーク 参加
「おひさま生活塾」総会

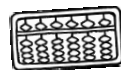


2017年 11月

宇部市障がい者福祉推進事業による公開講座



2017年度 決算収支



収入 4,423,559 円

支出 4,578,763 円

【寄付】

音楽で街を明るくする会	5,000 円
宇部興産機械部労働組合	57,000 円
国際プロプチミスト（社会ボランティア賞）	200,000 円

みなさん、いつもありがとうございます。

【助成金・補助金】

宇部市障がい者福祉推進事業	宇部市障害福祉課	282,050 円
---------------	----------	-----------

編集後記

これまで約 20 年にわたって会長として重責を担い、会を引っ張ってこられた田中さんが、新しい世代にその役割を引き継ぎたいと申し出られました。会員の思いを暖かく受け止め、さまざまな雑務を一手に引き受けてこられた縁の下の支えがあったおかげで、「NPO 法人おひさま生活塾」の活動を続けていくことができました。本当に感謝の一言です。

近年、子ども達を取り巻く社会環境も、保護者のニーズも変わってきました。しかし、子どもを取り巻く環境がどのように変わっても、子ども達自身が自分の存在を誇ることができるように支えていく私たちの役割に変わりはありません。これからは、新しいスタッフが新感覚で活動を支えていかれることと思います。その活動でも、子ども達それぞれの小さな願いにきちんと応え、充実した生活を過ごすことができるように、理解を広げていくという大切な役割を果たしていただけていただけると信じております。

本会の中心事業となっている日中一時支援事業は、松崎町の「寺子屋ほわ／＼りん」で継続していきます。川上小では夏休みのおひさまクラブも継続します。これらは保護者の方の手を借りて運営していくものです。興味のある方は、ぜひ見学にお越しください。

おひさま生活塾ホーム (<http://ohisama-seikatu-jyuku.jimdo.com/>)

